

# 京大リウマチ通信

第9号

京都大学医学部附属病院 リウマチセンター



2013.5.10. 文責：橋本 求



## かんかい 寛解を維持すれば関節破壊はおこらない

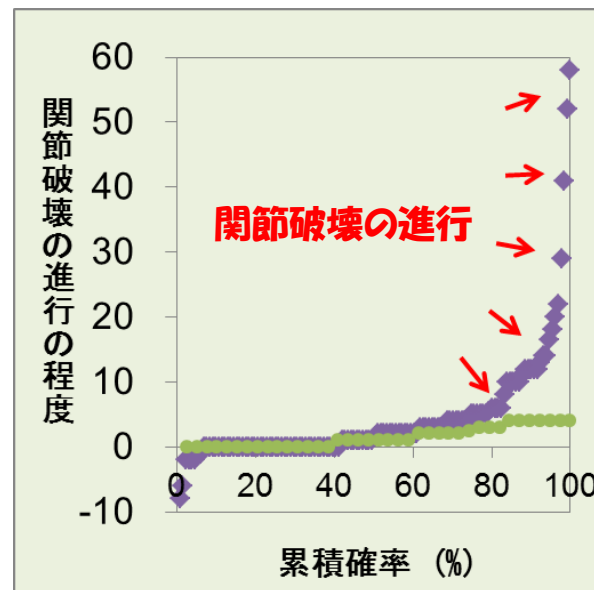
第8回「リウマチ通信」では、現在の関節リウマチの治療目標である「寛解」※1)について説明しました。では、「寛解」を維持することができれば、本当に関節破壊がおこらないのでしょうか？

今回は、この点について、みなさんにご協力いただいている「リウマチ調査」から得られた興味深いデータをご紹介します。

右に示しますのは、昨年度「リウマチ調査」を受けられた患者さんのうち、約1年前にも関節のレントゲン撮影がされていた170名の患者さんについて1年前と現在のレントゲン写真を比較したものです。

縦軸は「関節破壊の進行の程度」を示します。レントゲン写真で関節ごとの破壊の程度を評価し、その合計点を1年前と比べた値です。横軸は「累積確率」といい、関節破壊の程度が少ない患者さんから順に、左から並べてグラフに表したものです。

●は、1年間の受診日のうち半分以上で、SDAI ※2)による「寛解」を維持できた患者さんで、◆は、SDAIによる「寛解」が維持できなかった患者さんを示します。



※1)「寛解」：関節の腫れや痛みが全くない状態。  
※2) SDAI：リウマチの病気の勢いを表す指標の一つ。簡単に説明しますと、腫れた関節の数+押すと痛む関節の数+患者さんのVAS+医師のVAS+CRPの合計点が、3.3以下のときにSDAIによる「寛解」といいます。

グラフからわかりますように、◆の「寛解」を維持できなかった患者さんでは、約20%に関節破壊の急速な進行が認められました。しかし、●の「寛解」を維持できた患者さんでは、一人もそのような患者さんがいませんでした。つまり、SDAIによる「寛解」を維持できれば、関節破壊は進行しない、ということがわかります。関節の機能は、一度壊れてしまとなかなかもとには戻りませんから、普段の治療でできる限り「寛解」を目指す治療を行うことの重要性がわかると思います。

この結果は、昨年の「リウマチ調査」のデータから、当センターの布留先生がまとめたデータです。関節の状態を年に1回評価することは、リウマチ診療にとって大変大切なことですし、このように皆さんのデータを集めると、目指すべき治療の目標が見えてきます。今年も皆様のご協力をお願いいたします。

「寛解」を維持できるように一緒がんばって行きましょう。





## 日本リウマチ学会 2013

2013年4月19日～24日、京都国際会議場で、第57回日本リウマチ学会が開催されました。今学会のテーマは「集学的治療によるリウマチ治療の新展開」で、京都大学整形外科名誉教授の中村孝志先生が大会長を務められました。近年のリウマチ治療の進歩を反映して、過去最多の計1,655の演題発表があり、約7,000人が参加しました。当センターからも、先にご紹介した布留先生の「寛解」に関する研究をはじめとして、リウマチセンターの患者さんのデータベースであるKURAMAコホートを活用した10報の臨床研究を発表することができました。また、24日には患者さん向けの「市民公開講座」が開かれ、当センター長の三森経世教授も「最新のリウマチ治療」について講演をいたしました。なんとこの「市民公開講座」には約1,150人もの方が参加されました。患者さんたちに、進歩するリウマチ治療に対する関心が強くなっていることを強く印象づける学会となりました。リウマチセンターとしても、今後もできる限りリウマチに関する情報発信に努めていきたいと思っております。



会場の風景



リウマチ学会会場



市民公開講座



大会長 中村 孝志先生ご講演



## 第6回リウマチ教室が開かれます！

2013年5月23日に、第6回リウマチ教室が開かれます。今回は、「**リウマチの治療におけるメトトレキサートの使い方と注意点**」というテーマで、リウマチセンターの藤井先生が講演します。

メトトレキサート（リウマトレックス）は、リウマチの治療の中心的役割を果たす重要なお薬ですが、副作用など注意すべき点が存在します。メトトレキサートの効果や副作用などについて勉強したい方は、是非ご参加ください。



### 受付時間

午前8時30分～午前11時00分

診察室	月	火	水	木	金
108号室	橋本	荻野(午前)	藤井	橋本	藤井
109号室		布留(午後)	伊藤	伊藤	布留

リウマチに関するご質問、「リウマチ通信」や「リウマチ教室」で特集してほしいテーマがありましたら、外来主治医または外来秘書にお気軽にお申し出下さい。

### お問い合わせは…

京都大学医学部附属病院 リウマチセンター  
 代表電話 075(751)3111 予約電話 075(751)4891  
 〒606-8507 京都市左京区聖護院川原町 54

